

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成29年10月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 弁護士資格を有していないFPが、顧客からの法律事務に関する業務依頼に備えるために、弁護士と顧問契約を締結した。
2. 生命保険募集人資格を有していないFPが、顧客から相談を受け、顧客が死亡した場合における遺族の必要保障額を計算した。
3. 税理士資格を有していないFPが、無料相談会において、相談者の持参した資料に基づいて、相談者が納付すべき所得税の具体的な税額計算を行った。

問2

下記は、村瀬家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

<村瀬家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数		基準年	1年	2年	3年	4年	
西暦(年)		2017	2018	2019	2020	2021	
平成(年)		29	30	31	32	33	
家族・ 年齢	村瀬 圭祐	本人	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
	友梨	妻	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳
	光汰	長男	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
	香奈	長女	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
ライフイベント		変動率	光汰 小学校入学	住宅購入	香奈 小学校入学		
収入	給与収入(夫)	1%	418				
	給与収入(妻)	—	70	70	85	100	100
	収入合計	—	488	492	511	531	535
支出	基本生活費	2%	238				(ア)
	住宅関連費	—	114	835	145	145	145
	教育費	—	50	30	50	40	45
	保険料	—	34	30	28	28	28
	一時的支出	—		100			
	その他支出	—	20	20	20	20	20
	支出合計	—	456	1,258			
年間収支			32	▲766			
金融資産残高		1%	1,068	(イ)			

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、平成29年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. (ア) 257 (イ) 302
2. (ア) 258 (イ) 302
3. (ア) 258 (イ) 313

【第2問】下記の（問3）、（問4）について解答しなさい。

問3

下記は、経済指標についてまとめた表である。下表の経済指標に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

経済指標	主な内容
(ア)	企業間で取引される商品の価格変動に焦点を当てた指標であり、日本銀行が公表している。国際商品市況や外国為替相場の影響を受けやすい傾向がある。
(イ)	生産、雇用などの経済活動状況を表すさまざまな指標の動きを統合して、景気の現状把握や将来の動向を予測するために内閣府が発表している指標である。
(ウ)	景気の動向を判断するために、消費者の意識の変化、サービス等の支出予定、主要耐久消費財等の保有状況および購入状況などについて、内閣府が企画し、行う調査である。

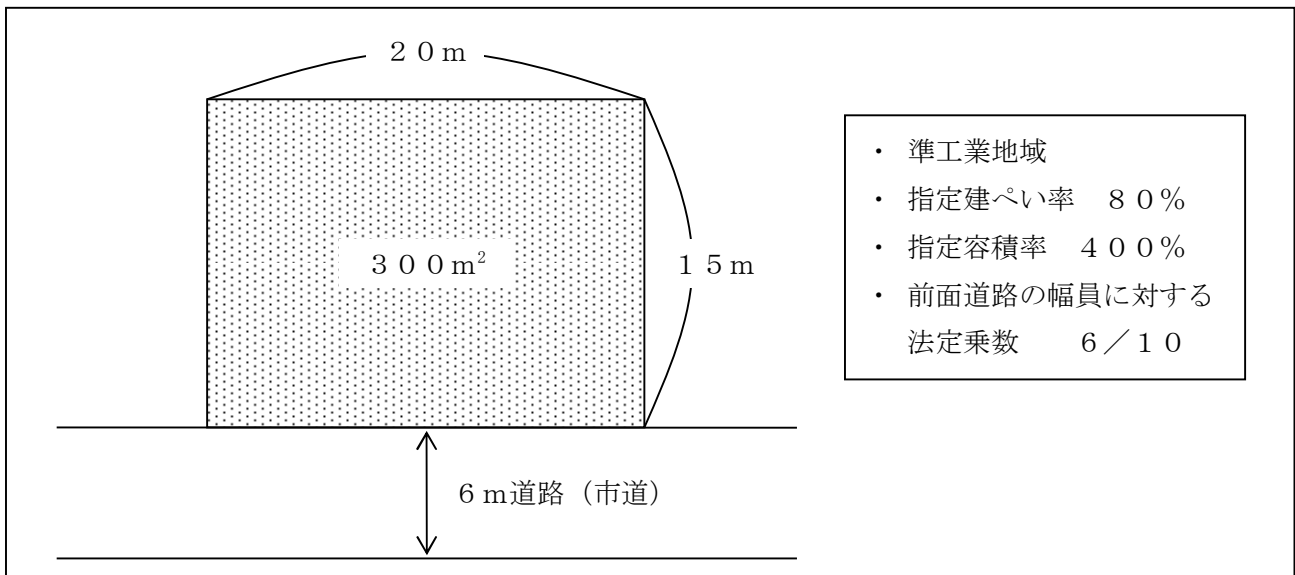
1. 空欄（ア）に入る用語は、「企業物価指数」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「消費動向調査」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「景気動向指数」である。

【第3問】下記の（問5）、（問6）について解答しなさい。

問5

建築基準法に従い、下記＜資料＞の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



1. $300 \times 0.8 = 240$ (m²)
2. $300 \times 6 \times 6 / 10 = 1,080$ (m²)
3. $300 \times 4.0 = 1,200$ (m²)

問6

土地の登記記録において、下表の甲区（ア）、乙区（イ）に記録される事項の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、問題作成の都合上、表の一部を空欄（***）としている。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	***	
	権利部	甲区	(ア)
		乙区	(イ)

1. (ア) 賃借権設定登記 (イ) 抵当権設定登記
2. (ア) 所有権移転登記 (イ) 抵当権設定登記
3. (ア) 抵当権設定登記 (イ) 所有権移転登記

【第4問】下記の（問7）～（問9）について解答しなさい。

問7

大垣友子さんが加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、友子さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	大垣 友子 様	ご印鑑 ⊙ 大垣	◆契約日 2016年7月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	大垣 友子 様 契約年齢 29歳 女性		
受取人	[給付金受取人] 被保険者 様 [死亡保険金受取人] 大垣 隆行 様 * 保険契約者との続柄：夫		
■ ご契約内容			
給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間	
入院給付金	日額 5,000円 * 病気やケガで1日以上継続入院のとき、入院開始日からその日を含めて1日目から支払います。 * 同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	終身	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 * 所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。		
死亡・高度障害保険金	保険金 500,000円 * 死亡または所定の高度障害となった場合に支払います。		
■ 保険料の内容		■ その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 ：毎月		保険料口座振替特約 * 以下余白	

大垣友子さんが、平成29年中に交通事故で大ケガを負い、給付倍率20倍の手術を1回受け、継続して10日間入院した場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。

1. 5万円
2. 10万円
3. 15万円

問8

損害保険の用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 再調達価額とは、保険の対象と同等の物を新たに建築または購入するのに必要な金額から、使用による消耗分を差し引いた金額のことである。
2. 保険金とは、保険事故により損害が生じたとき、保険会社が被保険者に支払う金銭のことである。
3. 超過保険とは、保険金額が保険の対象の価額（保険価額）を超えている保険のことである。

問9

川野さんは、相次ぐ地震の報道を受け、火災保険と地震保険についてFPの布施さんに質問をした。地震保険等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

1. 火災保険では、地震、噴火またはこれらを原因とする津波による損害も補償の対象となるので、火災保険を契約していれば地震による被害への備えになる。
2. 地震保険では、居住用の建物とそれに収容されている家財を保険の対象としているが、1個または1組の価額が30万円を超える宝石や骨とう品等は補償の対象から除かれる。
3. 地震保険は保険の対象である建物や家財が全損の状態になった場合のみ補償の対象となる。

【第5問】下記の（問10）～（問12）について解答しなさい。

問10

下記<資料>に基づき、大津隆史さんの平成29年分の所得税を計算する際の所得控除に関する次の（ア）～（ウ）の記述について、正しいものを○、誤っているものを×とした組み合わせとして、正しいものはどれか。

<資料>

氏名	続柄	年齢	平成29年分の所得	職業
大津 隆史	本人（世帯主）	42歳	給与所得700万円	会社員
由美	妻	40歳	給与所得20万円	パートタイマー
俊介	長男	17歳	所得なし	高校生
キミ	母	68歳	所得なし	無職

※平成29年12月31日時点のデータである。

※家族は全員、大津隆史さんと同居し、生計を一にしている。

※障害者または特別障害者に該当する者はいない。

（ア）妻の由美さんは、給与所得が38万円未満であるため、控除対象配偶者に該当する。

（イ）長男の俊介さんは、16歳以上であるため、特定扶養親族に該当する。

（ウ）母のキミさんは、65歳以上であるため、老人扶養親族に該当する。

1. （ア）○ （イ）× （ウ）×
2. （ア）○ （イ）× （ウ）○
3. （ア）× （イ）○ （ウ）○

問 1 1

下記<資料>の3人の会社員のうち、平成29年分の所得税において確定申告を行う必要がある者は誰か。なお、<資料>に記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料：3人の収入等に関するデータ（平成29年12月31日時点）>

氏名	年齢	給与収入（年収）	勤務先	備考
細井一人	35歳	700万円	WF会社	<ul style="list-style-type: none"> 収入は勤務先の給与収入のみである。 勤務先で年末調整を受けている。 前年以前に住宅を取得し、住宅借入金等特別控除の適用を受けている。年末調整の際に会社に所定の書類を提出している。
成田康介	50歳	2,300万円	WK証券	<ul style="list-style-type: none"> 収入は勤務先の給与収入のみである。
安西道夫	48歳	1,000万円	WE銀行	<ul style="list-style-type: none"> 勤務先の給与収入以外に雑所得の金額が5万円ある。 勤務先で年末調整を受けている。

※給与収入（年収）は平成29年分の金額である。

1. 細井一人
2. 成田康介
3. 安西道夫

問 1 2

小田悟さん（67歳）の平成29年分の公的年金等の収入金額は310万円である。小田さんの平成29年分の公的年金等の雑所得の金額として、正しいものはどれか。なお、小田さんは公的年金等以外に収入はないものとする。

<公的年金等控除額の速算表>

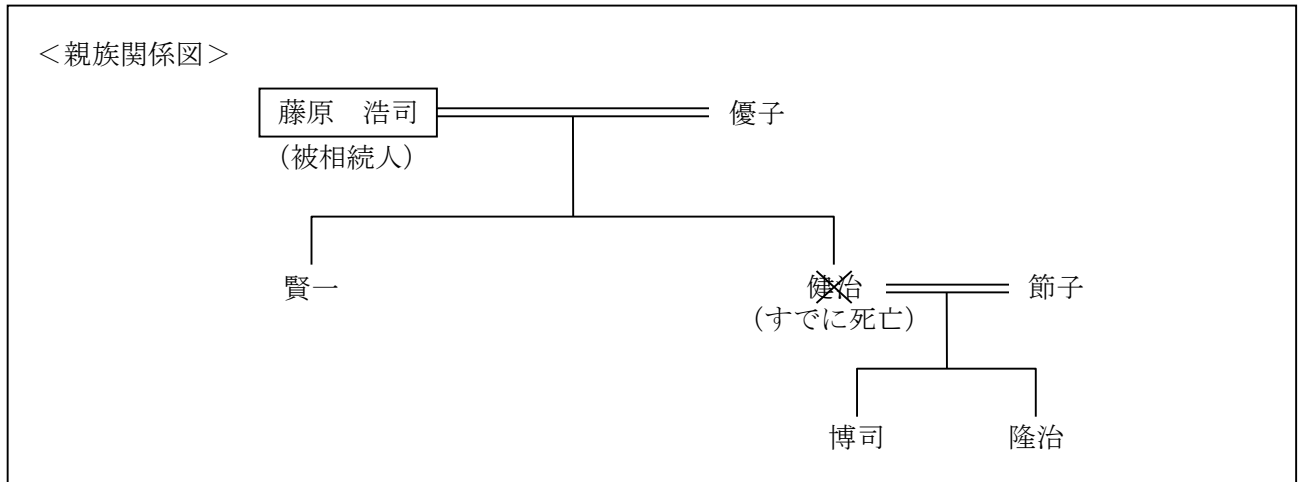
納税者区分	公的年金等の収入金額	公的年金等控除額
65歳未満の者	130万円 未満	70万円
	130万円 以上 410万円 未満	収入金額×25%+ 37.5万円
	410万円 以上 770万円 未満	収入金額×15%+ 78.5万円
	770万円 以上	収入金額× 5%+155.5万円
65歳以上の者	330万円 未満	120万円
	330万円 以上 410万円 未満	収入金額×25%+ 37.5万円
	410万円 以上 770万円 未満	収入金額×15%+ 78.5万円
	770万円 以上	収入金額× 5%+155.5万円

1. 120万円
2. 190万円
3. 195万円

【第6問】下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

平成30年1月7日に相続が開始された藤原浩司さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 優子 1/2 賢一 1/4 節子 1/4
2. 優子 1/2 賢一 1/6 博司 1/6 隆治 1/6
3. 優子 1/2 賢一 1/4 博司 1/8 隆治 1/8

問14

相続開始後の各種手続きの期限における下記＜資料＞の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜資料＞

手続きの種類	手続きの期限
相続の放棄または限定承認	相続の開始を知った日から（ア）以内に家庭裁判所に申述書を提出
相続税の申告と納付	相続の開始を知った日の翌日から（イ）以内に被相続人の死亡時の住所地の所轄税務署長に提出

1. (ア) 1ヵ月 (イ) 10ヵ月
2. (ア) 3ヵ月 (イ) 6ヵ月
3. (ア) 3ヵ月 (イ) 10ヵ月

問 15

宮野真理子さん（45歳）は、夫の智和さん（50歳）から金銭の贈与を受けるに当たっての贈与税の取扱いについて、FPで税理士でもある阿久津さんに相談をした。この相談に対する阿久津さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜阿久津さんの回答＞

ある年に真理子さんが智和さんから金銭の贈与を受け、その年中にそれ以外の財産の贈与を誰からも受けなかった場合、その贈与された金銭の額が贈与税の基礎控除額である（ア）万円以内であれば、贈与税は発生しないこととなります。

なお、その金銭が居住用不動産の購入資金であり、かつ、智和さんとの婚姻期間が20年以上である等の所定の要件を満たす場合、基礎控除とは別に、最大（イ）万円の配偶者控除の適用を受けることができます。

1. (ア) 60 (イ) 1,500
2. (ア) 110 (イ) 2,000
3. (ア) 110 (イ) 2,500

【第7問】下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

井川幸広さんは株式会社S Tに勤める会社員である。平成30年7月に第二子が生まれる予定であり、今後の生活設計についてFPで税理士でもある山根さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成30年1月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
井川 幸広	本人	昭和59年 6月20日	33歳	会社員
沙織	妻	昭和60年 9月15日	32歳	専業主婦
健太	長男	平成27年11月 7日	2歳	

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	100
定期預金	80
個人向け国債	70
生命保険（解約返戻金相当額）	25
不動産（自宅マンション）	2,400

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：2,350万円（債務者は幸広さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 1 6

F P の山根さんは、井川家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

＜井川家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××	負債合計	×××
個人向け国債	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	[純資産]	（ア）
不動産（自宅マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 275（万円）
2. 300（万円）
3. 325（万円）

問 1 7

幸広さんは、今後10年間で毎年24万円ずつ積立貯蓄をして、長男の健太さんの教育資金を準備したいと考えている。積立期間中に年利2.0%で複利運用できるものとした場合、10年後の合計金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	終価係数	年金終価係数	年金現価係数
10年	1.219	10.950	8.983

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 2,926,000円
2. 2,628,000円
3. 2,156,000円

問 18

幸広さんと沙織さんが加入している生命保険は下表のとおりである。下表の契約A～Cについて、保険金・給付金が支払われた場合の課税関係に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

	保険種類	保険料 払込方法	保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金 受取人	満期保険金 受取人
契約A	終身保険	月払い	幸広	幸広	沙織	—
契約B	医療保険	月払い	沙織	沙織	—	—
契約C	養老保険	月払い	幸広	健太	沙織	沙織

1. 契約Aについて、沙織さんが受け取った死亡保険金は、相続税の課税対象となる。
2. 契約Bについて、沙織さんが受け取った入院給付金は、雑所得として所得税・住民税の課税対象となる。
3. 契約Cについて、沙織さんが受け取った満期保険金は、一時所得として所得税・住民税の課税対象となる。

問 19

幸広さんの父の正幸さんは、平成30年9月末に勤務先を定年退職する予定であり、定年退職後は任意継続被保険者として健康保険の被保険者の資格を継続したいと考えている。全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の任意継続被保険者に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

被保険者の資格喪失日から起算して（ア）以内に申出をすることにより、退職後も引き続き（イ）、健康保険の任意継続被保険者となることができる。ただし、任意継続被保険者となるためには、資格喪失日の前日まで継続して（ウ）以上被保険者であったことが必要となる。

1. （ア）20日 （イ）2年間 （ウ）2ヵ月
2. （ア）20日 （イ）4年間 （ウ）2ヵ月
3. （ア）14日 （イ）2年間 （ウ）4ヵ月

問 20

沙織さんは、現在、専業主婦であり国民年金の第3号被保険者であるが、第二子出産後、子育てがひと段落したらパートタイマーとして働きたいと考えている。パートタイマーとして働き始めた場合の沙織さんの国民年金の被保険者種別に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、パートタイマーとして働き始めた以後の沙織さんの年収は100万円未満で、幸広さんの年収の2分の1未満であるものとし、沙織さんはパート先において厚生年金の被保険者とならないものとする。

1. 国民年金の第3号被保険者から第1号被保険者となる。
2. 国民年金の第3号被保険者から第2号被保険者となる。
3. 国民年金の第3号被保険者のままである。